



レスポンシブル・ケア活動 データ編

2 労働安全衛生・保安防災

休業無災害表彰基準と実績(2018年5月末時点)

住友化学従業員および協力会社従業員に対して、事業所ごとに無災害継続時間の基準を設定し、各基準を達成することにより「社長安全表彰」を行っています。

■ 住友化学従業員

事業所名	社長安全表彰基準 ^{※1}	基準達成状況
愛媛工場	300万時間	休業無災害1200万時間に向けて活動中
大江工場 ^{※2}	300万時間	休業無災害1200万時間に向けて活動中
千葉工場	300万時間	2017年11月に休業無災害1200万時間達成、1500万時間に向けて活動中
大阪工場	300万時間	2018年4月に休業無災害1200万時間達成、1500万時間に向けて活動中
大分工場 ^{※3}	150万時間	2018年3月に休業無災害300万時間達成、450万時間に向けて活動中
三沢工場	30力月	休業無災害180力月に向けて活動中
健康・農業関連事業研究所	30力月	休業無災害30力月に向けて活動中
筑波地区研究所 ^{※4}	30力月	休業無災害360力月に向けて活動中

※1 休業無災害継続時間

※2 大江工場は、住化アッセンブリーテクノ株式会社を含む

※3 大分工場は、歌島試製部、岐阜工場、岡山工場を含む

※4 先端材料開発研究所、情報電子化学品研究所(筑波)とエネルギー・機能材料研究所(筑波)

■ 協力会社従業員

事業所名	社長安全表彰基準	基準達成状況
愛媛協力会(保全)	24力月	2018年3月に休業無災害24力月達成、48力月に向けて活動中
愛媛協力会(物流)	24力月	2018年1月に休業無災害24力月達成、48力月に向けて活動中
大江協力会(保全)	48力月	休業無災害144力月に向けて活動中
大江協力会(物流)	48力月	休業無災害144力月に向けて活動中
千葉協力会(保全)	24力月	休業無災害24力月に向けて活動中
千葉協力会(物流)	24力月	2018年2月に休業無災害24力月達成、48力月に向けて活動中
大阪協力会	24力月	休業無災害24力月に向けて活動中
大分工場	24力月	休業無災害96力月に向けて活動中
岡山協力会	48力月	休業無災害144力月に向けて活動中
岐阜協力会	48力月	2017年9月に休業無災害96力月達成、144力月に向けて活動中
三沢工場	48力月	休業無災害96力月に向けて活動中
健康・農業関連事業研究所	48力月	休業無災害240力月に向けて活動中
筑波地区研究所	48力月	休業無災害96力月に向けて活動中



レスポンシブル・ケア活動 データ編

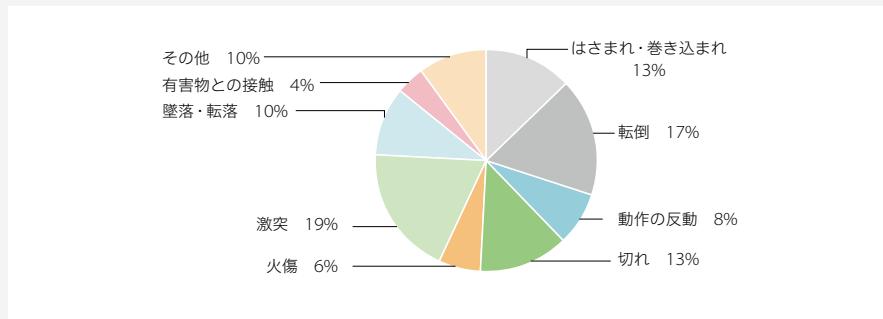
安全成績

■ 休業災害発生状況(住友化学グループ[※])

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
件数	10	17	9	17
度数率	0.16	0.27	0.14	0.26
死亡災害件数(従業員、請負業者含む)	1	0	0	2
死亡災害件数(契約社員)	0	0	0	0

(注) 精度向上のため、過年度に遡及してデータを修正

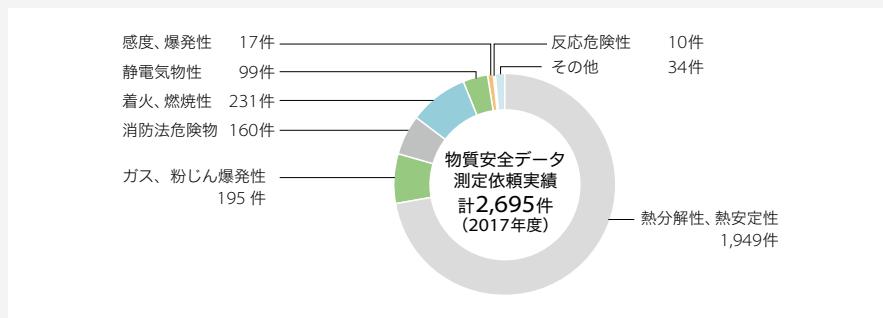
■ 災害の型分類(住友化学グループ[※])



※ 住友化学、住友化学協力会社、国内・海外グループ会社の従業員

保安防災実績

■ 物質安全データ測定実績



生産安全基盤センター安全工学グループでは、化学プロセスの火災・爆発の災害防止のため、プロセスの安全性の検討・評価と安全対策の研究、物質安全データの測定と評価の研究、保安技術の蓄積とそのデータベース化、安全技術者の育成などを行っています。2017年度の物質安全データ測定依頼件数は、住友化学内からは2,512件(2016年度は2,736件)、グループ会社からは183件(同228件)、合計2,695件(同2,964件)でした。



レスポンシブル・ケア活動 データ編

■ プロセス安全検討会議の開催数(住友化学)

年度	研究開発段階		工業化段階		
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
2014	17	40	44	112	31
2015	22	29	41	131	26
2016	14	33	37	81	17
2017	25	19	27	88	47

住友化学では、新規プロセスの開発時、研究開発から工業化の各ステップで「プロセス安全検討会議(レベル1～5)」を開催し、プロセス安全性の評価結果や安全対策が適切であることを確認しています。

■ 保安情報データベース(住友化学)

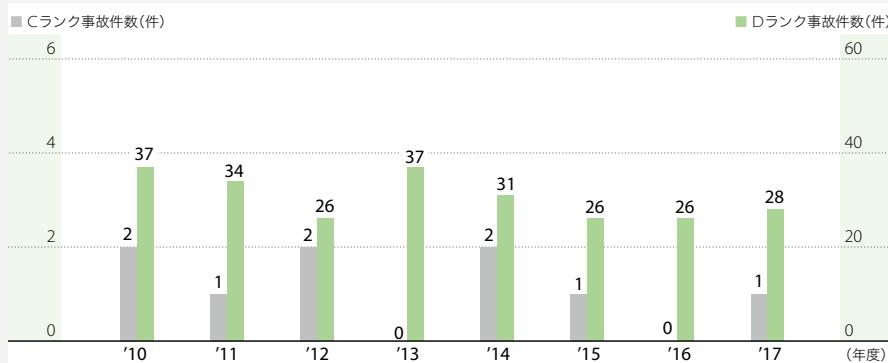
	件数	(2017年3月末比)
防災技術情報	18,964	(545増)
事故原因調査	2,371	(60増)
事故情報	20,382	(299増)
2018年3月末現在	41,717	(904増)

国内外の事故情報を収集し、その抄録をデータとして登録しており、2018年3月末現在で41,717件(2017年3月末は40,813件)のデータが収録されています。各工場や研究所の従業員全てが、各自の端末から登録情報を検索できるシステムです。これらの保安情報は、プロセス危険性評価、事例検討による類似災害の防止などに活用しています。また、事故などの必要な情報をグループ会社へも提供しています。

物流品質保証

2017年度のCランク以上の事故は1件、Dランクの事故は28件になりました。またその内16件は誤出荷・誤納入といったお客様の製品の品質に大きな問題を及ぼしかねないトラブルでした。今後もこれらの事故の削減対策を推進していきます。

■ お客様に影響を及ぼす物流トラブル件数の推移(住友化学)



(注)・各ランクは当社事故基準による。影響度はA>B>C>D
 ・重大なトラブルはA、Bランク(発生なし)
 ・住友化学が受託している物流業務範囲で発生した事故